

平成27年度 学校関係者評価報告書

平成27年度の総括として業界関係者2名、在校生保護者2名の各評価委員、本校職員5名により学校自己評価を基に学校関係者評価委員会を開催しました。会議の概要、学校関係者の意見と学校の取り組みは次の通り。

I 概要

1. 日時

平成28年6月24日(金)15:00～17:40

2. 場所

専門学校 広島自動車大学校

3. 参加委員

外部関係者(学校関係者評価委員)

- ・一般社団法人 広島県自動車整備振興会 指導部 課長 山西 和夫 様
- ・トヨタカローラ広島株式会社 サービス部 技術課 次長 平尾 憲吾 様
- ・在校生保護者 2名

本校関係者

- ・本校職員 5名 (豊原、木原、富田、田中、小田)

4. タイムスケジュール

15:00～ 開会挨拶

15:10～ 授業、実習風景及び校内設備等の見学。卒業生アンケート・保護者アンケートの観覧。

16:20～ 学校関係者評価委員会会議。事前に配布している学校自己評価その他関係資料を基に委からの学校評価(特に評価点の低い項目について)質疑応答、意見交換。

II 学校関係者評価委員からの質問と学校からの回答と取り組み

1. 教育理念の項目について

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点はない。

(学校側から)

- (1) 建学の精神、教育目的を基に、技能資格取得訓練を通して、まずは学生が心、すなわち考え方、心の持ち方を明確にし、具体的な行動の訓練を学校生活の中で取り入れる。つまり、お客様を意識した言動の取れる人材、更には社会人としての基本的な事柄を身につけ、実社会での即戦力化を目指した人材育成を行うとともに進化する技術及び企業ニーズに柔軟に対応して行く。

2. 教育活動・教育環境・学習成果の項目について

[委員からの質問]

- (1) 施設・設備は教育上必要性に十分対応できるように整備されているかの評価が 2.5 と低い評価になっているが、どのようにお考えか。
- (2) 昨日も大雨で避難勧告が出たが、評価項目に防災に対する体制は整備されているかという項目があり評価が 2.8 と低いが、どのような対策を行われるのかお聞きしたい。
- (3) 卒業生の社会的な活躍や評価を把握しているか、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校教育活動の改善に活用されているかの評価が 3 点以下ですが、どのように改善されるのか。

(学校側からの回答)

- (1) 施設の面は難しい点が多いが、設備においては教科書との照合を行いながら教材をそろえています、金銭的な事もあり、必要性、重要性を見極め計画的に購入を進めております。
- (2) 昨年は防災避難マップを各教室に掲示するとともに避難場所の確認及び学校近くのアパートで一人暮らしを行っている学生はアパートからの避難場所も確認をさせたり、校舎・実習場からの避難経路図を各教室・実習場に掲示しましたが、避難経路図についてはまだ問題点があり、9月までに新たな避難経路図を作成し、できれば年内に避難訓練を行い、避難経路の見直しを行いたい。
夏休み中に消防署に依頼して教職員での消防訓練を行う予定です。
- (3) 就職担当者による 10 年前の卒業生からの就職先在籍調査を行い今回の資料にも調査結果報告書を添付しております。
卒業生の活躍や評価は、就職担当者が企業訪問時に情報を入手するようにしており、数多くの卒業生が技術コンクールの選手として活躍している様子等、朝礼で発表しております。
マツダ自動車の全国サービス技術大会を、学生全員に見学させてモチベーションアップを図っています。また、広島で行われる各自動車メーカーの技術コンクールに卒業生が選手として出場する場合はできるだけ応援に行くよう心がけています。
今年は卒業生の活躍が新聞記事に取り上げられ、今後のさらなる活躍を期待し、新聞記事のレプリカ作成を新聞社に依頼し、卒業生に贈り大変喜んでもらいました。
卒業生の入社後の技術面やモラル・マナー等の評価を把握し、評価の低い点をカリキュラムに反映させるため、企業へのアンケートを作成し実施します。

3. 学生支援

[委員からの質問]

- (1) 学生に対する経済的支援体制はどのような事をされていますか。
- (2) 学生の健康管理を担う体制があるかという項目の評価点が 2.3 と非常に低いが、何か対策を考えられていますか。
- (3) 卒業生への支援体制があるかという項目の評価点が 2.4 と低いが、どのようにお考えか。

(学校側からの回答)

- (1) 日本学生支援機構奨学金・企業奨学金及び各種教育ローンを紹介しており、説明会や事務手続きを行っております。
専門実践教育訓練給付金の指定講座に認定されており、今年1名が対象者として入学しました。
JR広島駅から学校までの無料送迎バスを運行し通学にかかる金銭的負担の軽減を行っております。
来年度より一人暮らしの学生へ支度金援助を行います。
- (2) 毎年、春に健康診断を実施しているが、保健室が無いためどうしても評価点は低くなってしまいますが、今回、気分が悪くなった時等に横になれるようソファベッドを購入しました。また、近隣の病院の連絡先と地図の一覧表を作成し職員室に掲示しました。
- (3) 体制と言ったものは無いが、卒業生の再就職の斡旋や相談には就職担当及び各教員が個別に対応しています。また学生が卒業すると学校からの支援は無いものと思っているため、卒業後も色々な相談・支援することを学生にアピールするようにしています。
1級コースは卒業後も口述試験の対策授業を実施しています。

4. 学校運営

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点は無い。

5. 学生の受け入れ募集

[委員からの質問]

- (1) 特に問題点は無い。

6. 財務・法令順守・社会貢献

[委員からの質問]

- (1) 社会貢献・地域貢献の項目で学生のボランティア活動奨励、支援しているかの評価が2.2、地域に対する公開講座・教育訓練の受託を積極的に実施しているかの評価が2.1と低いがどうされるのか。

(学校側からの回答)

- (1) 現在行っているボランティア活動は毎年4月に全学生による献血を行っています。また夏休み前の大掃除では、学校横の側溝の溝掃除を行っています。
リクレーションで利用する近くの公園への行き帰りにはゴミ拾いをしながら行くようにしています。
地域の支えがあって学校が成り立っていることを理解し、積極的に取り組む必要を感じ土曜学習応援団に参加登録いたしました。
去年は地域での交通安全のキャンペーンに1級コースの生徒が参加し新聞にも取り上げられました。
また、今年の8月には高等学校からエンジンの分解組み付けの実習依頼があり実施いたします。

7. その他の意見交換

[保護者委員からの意見]

- (1) 御校の考え方や社会人としての基本マナーに力を注いでいる点、個別指導やきめ細かい支援については大変素晴らしく親の立場としても安心して任せる事が出来る学校だと思っておりますが、ただ気になるのは、充足率です。入学定員に対して入学実員があまりに少ないと健全な学校の運営や教材の確保ができなくなるのではと気がかかります。これだけすばらしい教師の方がいらっしゃるのにもったいないと感じます。

(学校からの回答)

- (1) ご指摘のとおり、定員充足率はここ数年低下しております。少子化や小・中・高生の自動車に対する興味の薄れ、大学全入時代と要因は多々ありますが、高校への出張授業やガイダンスなど積極的に取り組

んでいますが、なかなか思うような結果は出ておりません。

今年オープンキャンパス実行委員会を設立し、より充実した内容となるよう検討し、少しでも多くの学生に入学してもらえよう努力しております。また、高校1年2年生を対象とした学校見学の対応など、早くから自動車に興味を持ってもらえるような活動もより積極的に実施しています。また、大学への進学を考えている学生には、本校の1級コースは大学への編入で自動車整備士の1級資格と大学卒業(学士)の資格を得ることができる事をさらアピールするようにしています。

【企業委員からの質問】

- (1) 今年から2級コースの2年生の希望者を対象に、夏休み中にインターンシップを行うとの話ですが、1年生を対象にインターンシップを受け入れようと思うのですが、いかがでしょうか。

(学校からの回答)

- (1) 職員会議で検討した結果、積極的に取り組む学生ばかりではなく、消極的な学生や精神的に弱い学生に対し強制的にインターンシップに参加させることが本当に良い事なのか、また受け入れる企業様の迷惑にならないか等検討した結果、今年は2年生の希望者のみ参加させることとしました。
おっしゃるとおり、インターンシップはキャリアデザインを考える為に1年生で経験させた方が良いと思いますが、入学から4カ月程度では簡単な作業すらできず、見学するだけになってしまいます。
それでも良いのなら、御社の夏休み会社説明会の参加者に今度はインターンシップをしますが参加されますか?と聞いてみたらどうでしょうか。本校では夏休みの宿題として、一人当たり5社以上の会社説明会に参加するよう指示しており、この説明会で自己のキャリアデザインを考えてくれればと思っています。

【企業委員からのお言葉】

- (1) 先ほども教材の購入の話や保護者委員からの教材を買えなくなるのでは、との話もありましたが、仕事柄県外などの専門学校も行きますが、実習車やベンチエンジン等最新の教材を数多くそろえた学校と比較すると、確かに劣るところもあると思いますが、当社には広島自動車大学の学生が数多く入社していますが、元気が良く、はきはきとものが言え、退職者もほとんど無く素晴らしい学生を育てられていると思います。いくら教材等が充実している学校で学んでも、数カ月で退職するような学生は多くおり、わざわざ県外の学校に行かせなくても県内にこんなに良い学校があるんだと、自信を持って頂きたい。色々な改善をされておられる結果が学生に表れています。教材も必要ですが、一番は人間性を育てる教育だと思います。

(学校からの回答)

- (1) ありがとうございます。期待を裏切ることの無いよう教職員全員でさらに良い学校にして参ります。

8. 最後に

【委員から】

- (1) 今回の質問に対する的確な回答と改善内容をお聞きし、学校全体で一生懸命28年度に向け取り組んでおられる事が良く分かりました。今後も学生の為にさらに良い学校にしてください。
- (2) 来年のこの会議を楽しみにしています。みなさんお忙しいとは思いますが、これまでと同様によりよい学生を数多く自動車業界に送り込んで下さい。
- (3) 来年の会議の報告で、少しでも定員充足率がアップしていることを期待しております。

III 総評

上記の内容は委員からの質問に対する学校側の回答のみ記載させて頂きましたが、これ以外にも数多くの意見やお褒めの言葉を頂く事ができ、本校の教育活動は適正であると考えています。

今後とも時代に即した教育活動・学校運営を行い、**共育**(我々教職員は、多くの事柄を学生から学び教え、共に育む)活動の改善に取り組んでいく。

以上